

お金・時間の余裕が実り多い将来を拓く

一人暮らしでも、私大より経済的。負担が少ない

大学生協提携アパートは本学周辺に約1,000室、月3万円台も多くあります(射水キャンパス周辺)。アパート生の平均年間経費試算合計額は、本学130万円以下。全国平均と比べても安くすみます。自宅生の小遣い平均額は月1万円ほどで、更に経済的余裕が生まれます。

大学周辺は住宅地なので、静かで便利、安全・安心です。(学生)

入学者特待生制度

(富山県内高等学校出身者向け・学部向け)

- 1年次生の入学料と授業料を免除 …(免除額:723,800円)
- 成績優秀者は2年次生以降も授業料を免除
…(免除額:毎年535,800円又は267,900円)

車通学が可能(工学部・情報工学部)

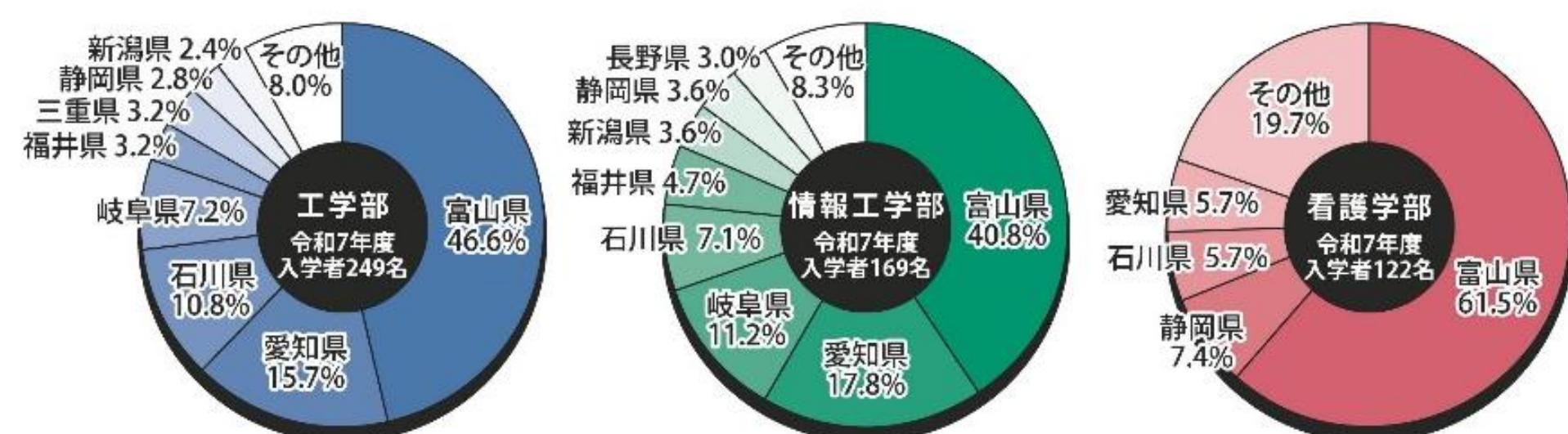
一年生から学生駐車場が利用できます

通学に、余暇活動に、将来を見据えて、時間を有効活用できます。

全国からの仲間と交流できます

学生の出身地域(2025年度入学生)

(注)小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。



工学部・アパート生の年間経費試算 公私比較

	A 富山県立大学	B 東京私大	C 全国平均
授業料	約54万円	約96万円(※)	
仕送り額	約51万円	約109万円	約87万円
合計	約105万円	約205万円	約183万円

A:2024年度富山県立大学生協調べ
B:東京私大教連「私立大学新入生の家計負担調査」(2024年度)
C:全国学生生活協同組合連合会「第59回学生生活実態調査」(2023)
(※)文部科学省私立大学等の令和5年度入学者に係る学生納付金等調査結果について

サークルは36と多彩 自主活動を応援します!

体育系サークル(15団体)

- サッカー部 ●バドミントン部
- ダンスサークル ●バスケットボールサークル
- 軟式野球部 他

文化系サークル(20団体)

- e-sports部 ●アカペラサークル
- 発明倶楽部 ●軽音楽部 ●天文部 他

その他(1団体)

- 学生会



保護者の皆様へ

富山県立大学 ご案内

CONTENTS

教育

教員の責任指導で
学生を伸ばす

研究

世界を変える先端研究

社会
貢献

世界の先端技術に
挑む共同研究

学生
生活

実り多い大学生活や進学は
お金や時間の余裕から



ウェブサイトでも最新情報を発信しています。
高校生向けのコンテンツも随時更新中!ぜひチェックしてみてください。

大学公式ウェブサイト
<https://www.pu-toyama.ac.jp>
受験生応援サイト
<https://www.pu-toyama.ac.jp/special/>



成長する本学の
ドンドンマスマス
WEBサイトにも
ドンドンマスマス
注目ください!

SNSで最新情報を発信中!

大学公式X
<https://twitter.com/toyamauniv>
大学公式Facebook
<https://m.facebook.com/ToyamaPrefUniv/>
大学公式Instagram
<https://www.instagram.com/toyamauniv/>

看護学部のキャンパスです。
最新情報をぜひチェックしてね!



射水キャンパス(工学部・情報工学部)

〒939-0398 富山県射水市黒河5180
TEL:0766-56-7500(代) FAX:0766-56-6182



小杉駅南口から、徒歩約25分(約2km)
または射水市コミュニティバス「7.新湊・小杉線」に乗り約6分

富山キャンパス(看護学部)

〒930-0975 富山県富山市西長江2-2-78
TEL:076-464-5410(代) FAX:076-422-6070



JR富山駅、あいの風とやま鉄道富山駅から、地鉄バス「中央病院行」約20分、または地鉄電車「栄町駅」下車後、徒歩約7分。

社会を変革する大学をめざして



国際性とチャレンジ精神を身につけよう

小笠原 司 学長

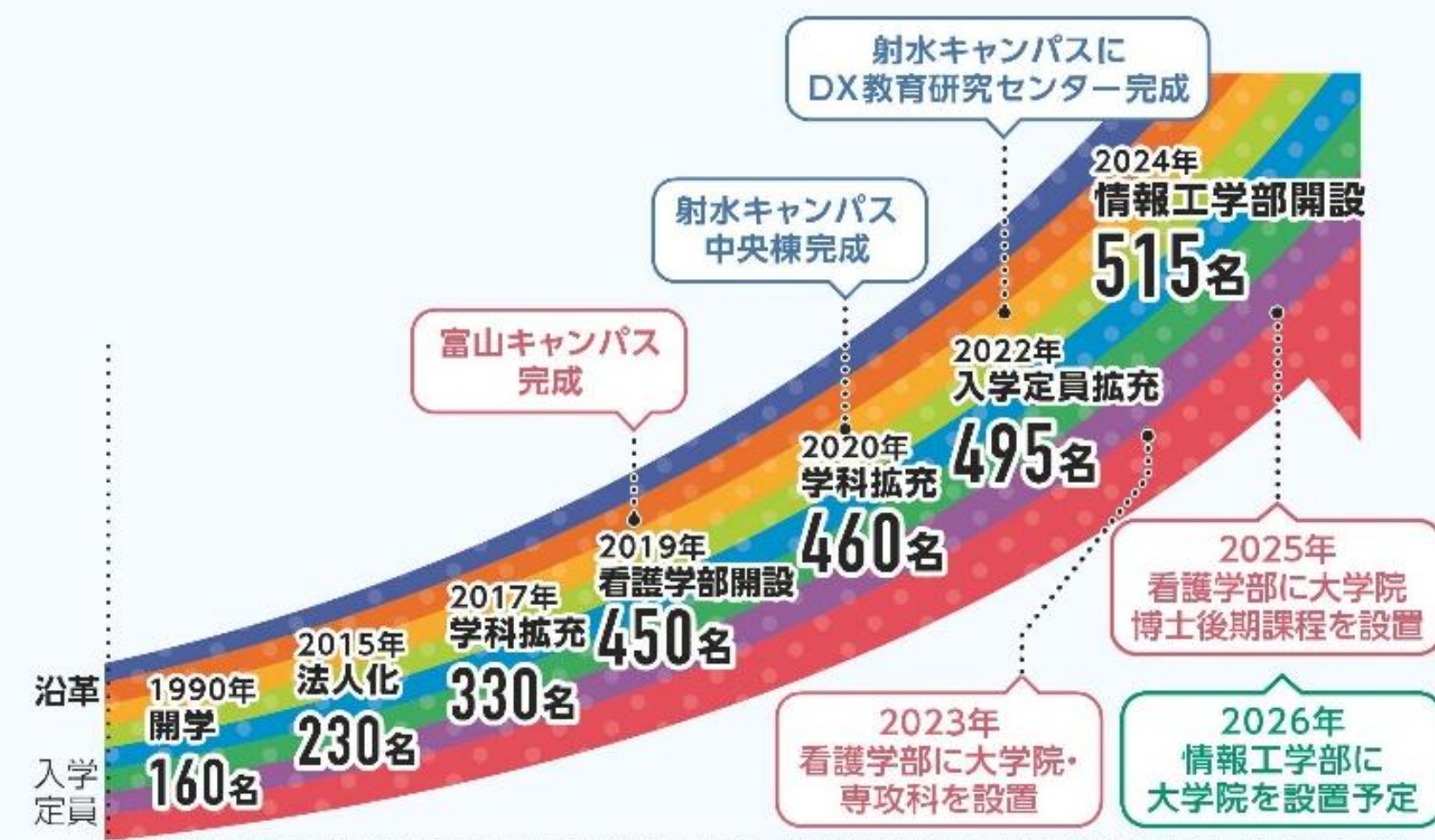
前 奈良先端科学技術大学院大学理事・副学長、前 奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科教授。専門は知能ロボティクス。

現代社会では、地域や国際社会の課題を解決できる人材が求められています。大学ではそのための基礎知識の習得とともに具体的な課題に教員と一緒に取り組みます。その経験を通して、課題発見力、課題解決力、ならびに、行動力を培うことが大切です。積極的にチャレンジしてください。本学はそのための教育・研究の環境を整備し、皆さんを支援します。

教育 「学生を大事にする大学」

進化・成長を続ける大学で成長しよう

本学は、設立当初からの志と先見の明のもと、学生を大事にする教育や先端研究を確立、高い成果をあげ、成長してきました。社会からの高い評価のもとに、工学部の学科や定員、教員数をいっそう拡充し、看護学部、情報工学部の新設とともに、施設を充実しました。成長する大学で、ともに成長しましょう。



工学部

1. 少人数によるゆきとどいた教育

少人数教育を中心に、一人ひとりの学生にゆきとどいた教育を行い、基礎学力の向上や人間力・実践力・創造力の養成に力を入れています。1年次には「教養ゼミ」、2年次には「トピックゼミ」、3年次には「プレゼンテーション演習」、専門ゼミ、卒業研究1」、4年次では研究室での「卒業研究、卒業研究2」を行います。また、各学科で行われている学生実験も少人数教育を意識したグループ構成で実施されています。

3. 基礎知識・基礎技術の確実な修得

全ての学年のカリキュラムに、実験や実習・演習を多く設け、学生が自らの力で未知の分野の技術を開拓する応用能力の育成を図っています。

5. 学生の自立を促すキャリア教育

学生のキャリア形成につながる実践的かつ体系的なプログラムを実施しています。学生の自立心と高い志で学び続ける意欲を育成し、生涯にわたり着実なキャリアを形成していく力の向上を支援します。

手厚いキャリア支援で就職に強い！

工学部、看護学部ともに就職率は毎年ほぼ100%と、全国でもトップクラスです。

キャリアセンターでは、各学部のニーズに応じて、きめ細やかな就職支援・進学支援を早期から行うなど、学生が着実に自分の目指す道に進んでいけるように手厚く支援を行っています。

工学部生、情報工学部生へは、キャリア形成論の授業を計画・実施しているほか、看護学部生へは県内で活躍する若手看護職者との交流会を開催する等、様々なサポートを行っています。

徹底した少人数教育で、教師との距離が近い

工学部、情報工学部、看護学部ともに1年次から少人数ゼミを実施しています。1・2年次には、少人数形式のグループワークなどを行い、コミュニケーション能力、情報活用力、問題解決能力などの力を養います。また、教員一人当たりの学生数が少人数であることにより、教員との距離が近いと感じる学生が多いことも特色の一つです。学生からは、「授業で分からないことがあった時は気軽に質問できる。」「研究のこと以外でも気軽に相談できる。」などの声が寄せられています。

「工学心」を持った人材を育成します

2. 人間性豊かな技術者の育成につながるカリキュラム編成

1年次から専門教育を学習し、基礎学力と広い視野を同時に身につける“クサビ型カリキュラム”の導入により高学年次にも教養教育科目を開講し、豊かな人間性と幅広い視野を持った技術者の育成を図っています。

4. 学部・大学院を通じた連携教育体制の確立

学部・大学院（博士前期課程）の6年一貫教育を意識した体系的なカリキュラムを確立。大学院のMOT（技術経営）科目などを学部生にも開放し、より高度な職業人の育成に取り組んでいます。

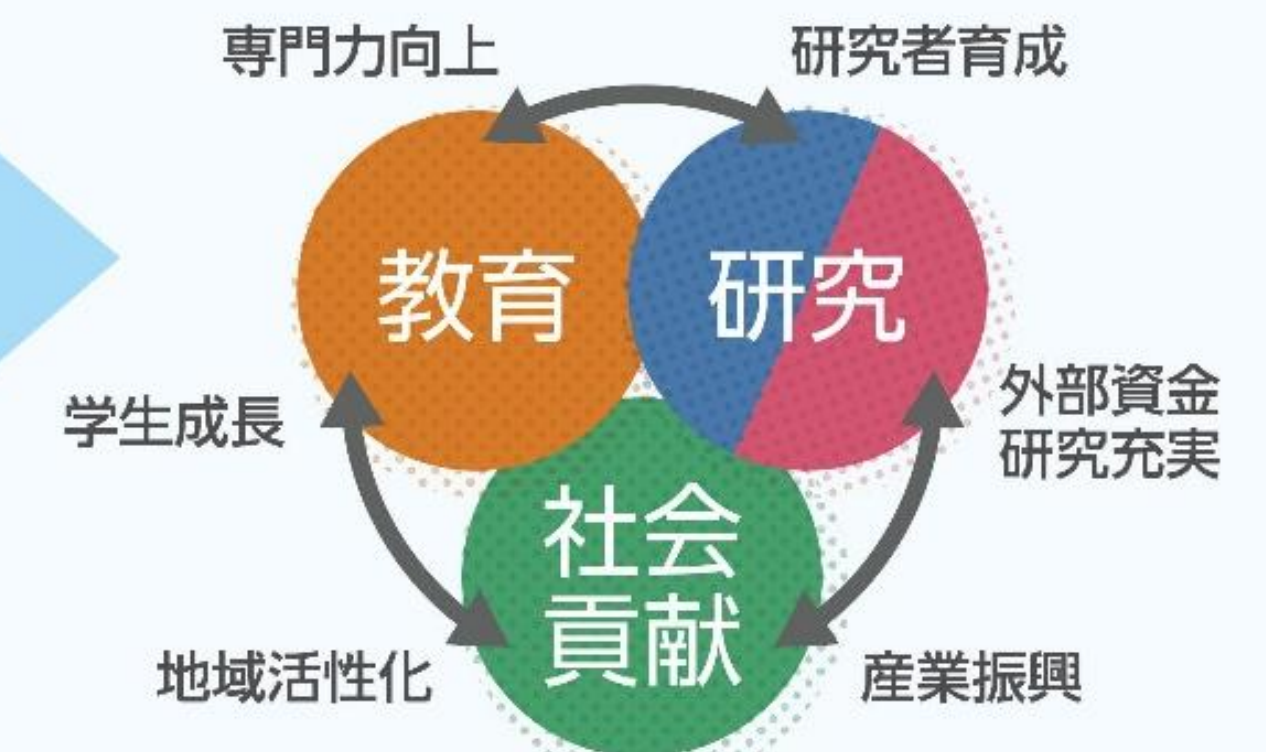
6. 体系的な環境教育プログラムの実施

持続可能な社会の実現に向けて、「環境への幅広い視野と倫理観」を備えた工学技術者を育成するため、導入教育から専門教育に至るまでの体系的な環境教育プログラムを実施しています。

理想の大学を富山に実現

藤井澄二初代学長は、MIT・東京大学・東京電機大学での経験をもとに「学生を大事にする大学」「地域社会に貢献し、世界に発信する大学」を創ろうと考えました。それから30余年、3学部9学科をもつ大学になりました。さらに、社会の持つ課題を解決し生活の質向上に貢献する大学、学生が専門性と社会課題解決能力を身につけられる大学に成長しています。

教育・研究・社会貢献の3使命を 実践し相乗の成果をあげる



入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）、教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）及び卒業時の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に基づいた教育体制により、学生の資質を大きく伸ばし社会に送り出すことをめざした先進的な大学です。

情報工学部

1. データサイエンスの専門教育

データサイエンスとは、数学、統計学、機械学習、データマイニングなどの理論を用いてデータの分析や解析を行い、新しい価値を見出す学問分野です。情報工学部ではデータサイエンスに関する様々なカリキュラムを導入し、専門知識を習得した人材の育成を図ります。

3. デザイン思考による課題発見解決力

デザイン思考とは、利用者の潜在的課題を顕在化させ、仮説・検証を繰り返し試行することで解決策を発見しようとする思考法です。高度な技術開発を目指すだけでなく、この手法を身につけることで、これまでにない視点・柔軟な発想力、多様性を備えた、利用者の真の課題解決に取り組む技術開発者・研究者を育成します。

5. 人間性豊かな技術者の育成につながるカリキュラム編成

1年次から専門教育を学習し、基礎学力と広い視野を同時に身につける“クサビ型カリキュラム”の導入により高学年次にも教養教育科目を開講し、豊かな人間性と幅広い視野を持った技術者の育成を図ります。

看護学部

学生の看護力を最大限に伸ばします

1. 「自ら学ぶ力」を身につける

少人数によるグループ学習やアクティブラーニングなど、主体性を持って協力して課題に対応する学び方を多く取り入れます。また、豊富なeラーニング教材を用いて、学生が自ら学ぶ姿勢を支援します。専門的な知識・技術の修得はもちろん、物事を多様な観点から考察する能力や創造性を養います。

3. 工学的な視点を「看護」の世界へ

看護学・工学連携科目を配置し、工学的視点を取り入れた人にやさしい看護学について学び、新時代の看護師を目指します。

5. さらなるステップアップの道へ

保健師・助産師を養成する「看護学専攻科」を開設しているほか、看護学を研究する大学院看護学研究科は2025（令和7）年4月に博士後期課程を開設し、さらに高度なレベルで看護の各分野について探究できるようになりました。看護学部卒業後も継続して本学で学び続けられます。

2. 多様な実習の場で実践力をつける

先端医療を提供する富山県立中央病院をはじめ、県内の公的病院や訪問看護ステーション、様々な保健医療福祉施設で、地域に密着した実習を行います。あらゆる健康段階にある方に適切な看護ケアを提供するための実践力を身につけます。

4. キャリア形成科目で自分らしい生き方を探す

1年次から、「トピックゼミ」「キャリア体験実習」を通して、自分らしい看護師像や働き方について考えます。県内公的病院などへの就職もサポートします。

※カリキュラムについては変更となる可能性があります。

看護学と工学の連携

看護学部では、看護学に工学的視点を取り入れ、「経験や勘」に頼る部分も多い看護ケア技術を、工学の力を使って「見える化」し、理論的に学びます。



岡本恵里 教授
（看護学科）

工学の力を借り、私たちの技術がどのような成り立ちか分析していく。学生たちにしっかりとした理論を伝えるには、工学との連携が不可欠だと思います。

▼ 研究例

▼ 講座例

機械システム工学科

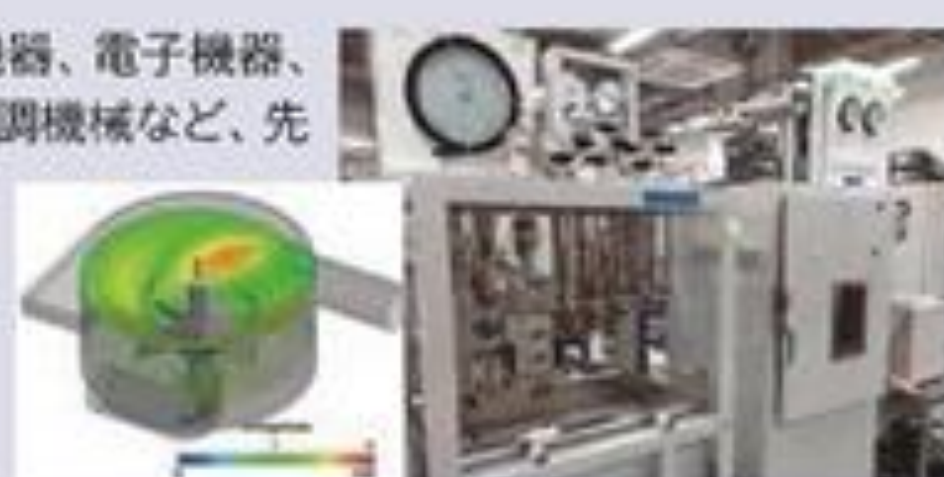
定員60名



- エネルギーの輸送・変換・利用技術
- 情報機器や生産機械を構成する材料の強度
- 機械製品のライフサイクル設計
- 軽金属・高分子・複合材料の開発など

熱流体工学講座

宇宙ロケット、医療機器、電子機器、コンピュータ、冷凍空調機械など、先端機器における各種エネルギーの変換や流れの力学に関する研究に取り組んでいます。



電気電子工学科

定員45名



- 半導体集積回路の設計技術
- イメージセンサの開発
- 次世代パワー半導体の開発
- システム制御技術など

電子デバイス工学講座

半導体集積回路、機能性電子デバイス、センサデバイス、パワーエレクトロニクスデバイス等のデバイス作製に関する材料・技術の開発や、電子回路やシステムに関する研究を行っています。



環境・社会基盤工学科

定員55名



- 水・大気・土壌環境の調査・分析・評価
- 自然と調和した地域デザイン
- 災害に強い社会基盤を作る理論と技術
- 再生可能な新エネルギーの開発など

社会基盤工学講座

大規模災害に対応した防災技術の開発や社会基盤施設の維持管理、持続可能な社会の形成に向けた地域計画の立案を主な対象として、新しい視点と広い視野を持った建設技術者の育成を目的とした研究・開発に取り組んでいます。



生物工学科

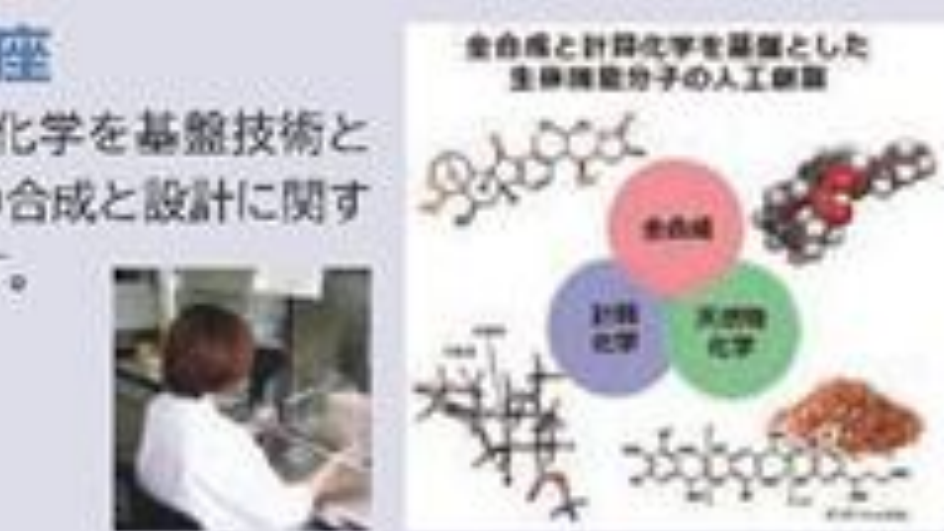
定員40名



- バイオテクノロジーを駆使した医薬品および診断法の開発
- 微生物・植物による有用物質生産
- 疾病予防に有効な食品成分の機能に関する研究
- 有機化学および応用微生物学に基づく医薬探索・開発研究など

生物有機化学講座

有機合成化学と計算化学を基盤技術とした、生物活性物質の合成と設計に関する研究を行っています。



医薬品工学科

定員35名



- 医薬品の分子設計・製剤化・品質管理
- バイオ医薬品の製造
- 医薬品関連材料の設計・製造
- 医薬品の体内動態・代謝・副作用
- モデル動物等を用いた疾患の解明など

製薬化学工学講座

医薬品を、安全、安定的に商業スケールで生産できるようにするための研究や、新しい医薬品・生体医工材料や医療デバイスの開発に取り組んでいます。



データサイエンス学科

定員40名



- 能率的な学習方法を支援する技術開発
- 自律移動ロボット知能の開発と評価
- データサイエンスに基づく意思決定支援のための基盤技術
- ビッグデータ分析による交通事故要因の分析と予測など

システム数理学講座

システム情報の処理・利活用のためのデータ応用技術や数理にもとづいた先進・融合的で汎用的なデータ分析基盤の研究を行っています。



定員120名

1 トピックゼミⅠ～Ⅳ

少人数形式で行うグループ学修により、看護の場で自分の考えを組み立て、発言できる基礎能力を養います。

ゼミでは、主体的に情報収集し、ディスカッションやプレゼンテーションを行うことで、コミュニケーション能力や表現力を高めることを目指します。

2 看護ケアとユマニチュードⅠ～Ⅳ

ユマニチュード(Humanitude)®は、フランス発祥の知覚・感情・言語によるコミュニケーションに基づいたケア技法で、医療の現場でも大変注目されています。4年間を通して「ユマニチュードの技法」を取り入れた看護ケアを学びます。

3 フィジカルアセスメント

フィジカルアセスメント(身体診察技法)は、看護職が身に付けるべき重要な能力の一つです。病院だけでなく、訪問看護や地域保健の場で実施することで、人々の健康レベルを把握し、適切な医療やケアに結びつけていくことができます。

4 看護ケアと工学

「看護ケアと工学」は、看護学・工学連携科目の一つです。看護ケアが患者・看護士の身体や心にとどのような影響を与えるかを看護学と工学の両方の視点から学び、人にやさしい看護学について考えます。

5 多職種連携論

チーム医療における多職種の機能や専門性に加え、看護の役割について学びます。また、ケアの受け手となる人や在宅医療、地域包括ケアシステムに関わる多職種をつなぐマネジメント力と、連携・協働できるネットワーク能力を育成します。

全国初! 4年間を通じた体系的なユマニチュードの教育

創始者 ジネスト先生による5日間の集中講義

医療現場でも注目されているユマニチュード(Humanitude)®とは、フランス人イヴ・ジネスト氏が創始し、東京医療センターの本田美和子医師が日本に導入した画期的なコミュニケーションケア技法です。基本的な技術である「見る」「話す」「触れる」「立つ」の4つを活用すると共に、相手と良い関係を結ぶための「5つのステップ」を大切にしています。

ドアや机などをノックして自分が来たことを知らせる「出会いの準備」。相手が気付いたら近づき、目を合わせてあいさつをすることで良い関係を結ぶ「ケアの準備」。ケアの同意が得られたら、「あなたの事を大切に思っています」というメッセージを伝えながらケアを行う「知覚の連結」。ケアを終えたら、共に過ごしたよい時間を振り返る「感情の固定」。最後に、次に訪れることを約束し次のケアへつなげる「再会の約束」。

すべてのステップで、「見る」「話す」「触れる」の技術のうち2つ、できれば3つを同時に行います。この包括的コミュニケーション技術によって、話ができなかった人が「ありがとう」と言ってくれるようになる、食事がすすまなかった人がおいしそうに食べるようになるなど、「その人らしさ」を取り戻すことができます。

本学では、ユマニチュードの技法を学ぶため、フランスからイヴ・ジネスト先生をお迎えし、5日間の集中講義で直接指導を行います。

※カリキュラムについては変更となる可能性があります。



イヴ・ジネスト客員教授



情報システム工学科

定員60名



- センサ利用技術・ソフトウェア応用技術を利用した高度な情報システム
- 人の行動や活動の認識・変容技術
- 3次元情報取得などの高度な映像処理・表示技術
- モノやコトが生み出す膨大なデータを解析・提示する仕事など

情報基盤工学講座

センサ利用技術・ソフトウェア応用技術を利用した高度な情報システムや、人の行動や活動の認識・変容技術、3次元情報取得などの高度な映像処理・表示技術に関する研究を進めています。



知能ロボット工学科

定員60名



- 知的な福祉・看護支援ロボットなどの研究
- 柔軟で優れたインタフェースの研究
- 先端医療などに貢献する知的計測技術研究
- 人と協調する知的な情報システムの研究など

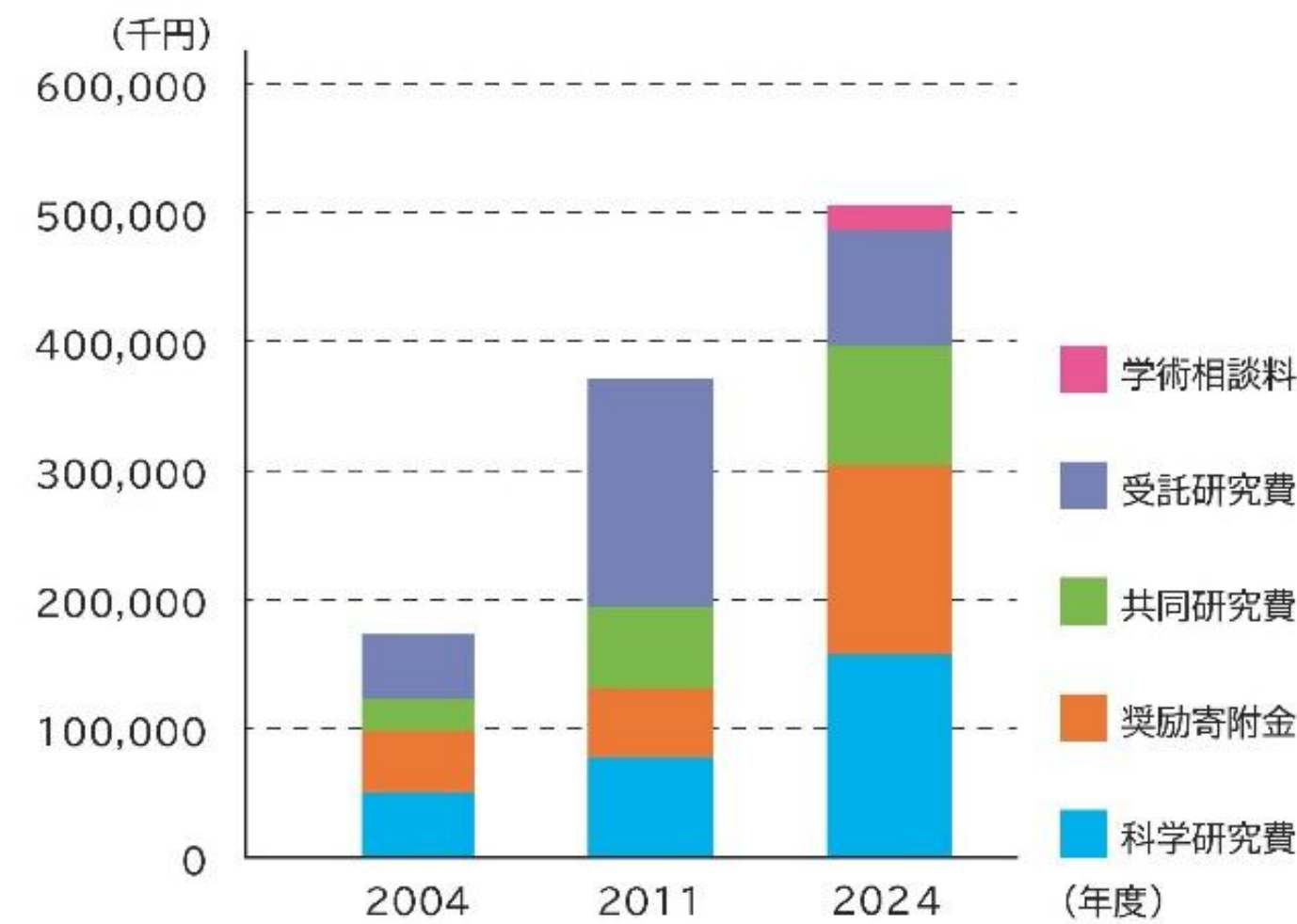
知的インタフェース工学講座

視覚・聴覚・音声・ジェスチャなど、人の柔軟で優れた情報処理を解明し、コンピュータやロボットを人のように賢くするインタフェースの研究を行っています。



世界の先端技術に挑む受託・共同研究 世界や地域に貢献する研究拠点として

■本学先端研究への評価と期待 外部資金が大幅増加

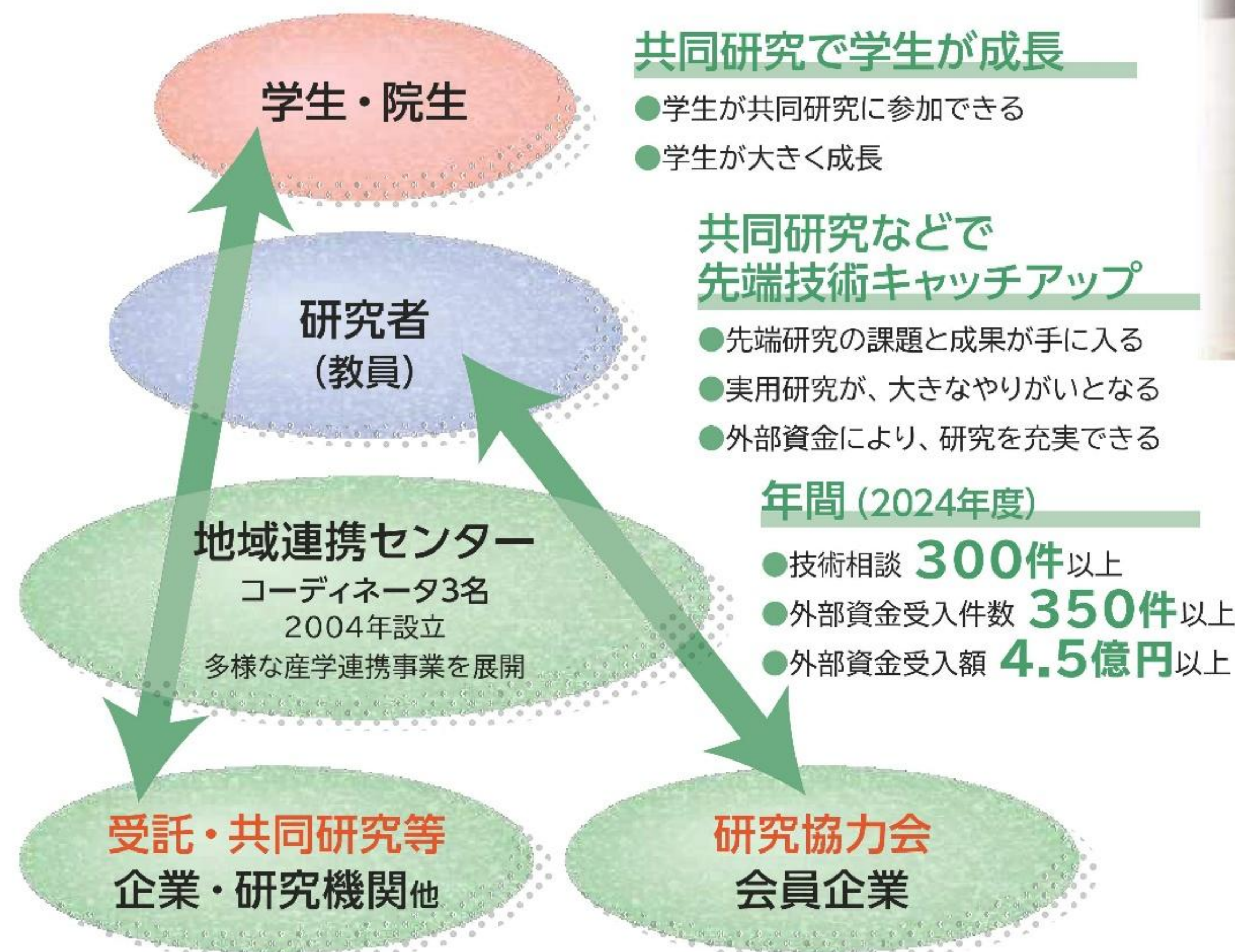


受託研究、共同研究など、本学の先端研究への期待は高く、2024年度は国内外の大学・機関・企業等から350件以上、4.5億円以上の外部資金を受け、先端研究開発の充実はもちろん、院生の国際会議発表の旅費にも充てています。

中でも、受託研究費は、18年間で約2倍以上に伸びており、本学の研究力の高さを示しています。

■産業振興とともに、先端研究や教育に成果

- 教員の先端研究の推進や、学生の教育の向上に大きな成果が生まれる
- 企業や研究機関、自治体やNPOなど、社会に大きな貢献ができる



企業・研究機関のメリット

- 大学研究者などの成果活用
- 企業の研究の向上

富山県立大学には、大変お世話になっています。自社だけでは解決が難しい課題も、各分野の専門研究者に相談でき、共同研究できる体制が整っているのは有難いですね。卒業生も優秀で当社の大きな戦力です。(企業研究者)

研究協力企業のメリット

- 企業研究者が、産学連携し、
- 研究開発ニーズや情報を交換する交流会
- 異業種企業と大学によるテーマ別研究会
- 技術者向けセミナーなど

【研究協力会法人会員】

- (発起人のみ) 全240社 2025年3月末現在
- ㈱インテック ●富士フイルム富山化学㈱富山第一工場 ●協和ファーマケミカル㈱
 - ㈱不二越 ●コーセル㈱ ●北電情報システムサービス㈱ ●㈱スギノマシン
 - 北陸電力㈱ ●立山科学㈱ ●㈱リッチェル ●田中精密工業㈱ 他

共同研究などを通じ、
本学の研究者や学生は、
先端技術の研究に常に
関わることになるのじゃ。



DX教育研究センター



2022年4月にDX教育研究センターの供用を開始しました。DXとはデジタル・トランスフォーメーションの略で、デジタル技術を活用することにより社会に変革をもたらし、人々の暮らしをより良くするという概念です。射水キャンパスにDX教育研究センターを新設し、地域社会はもとより広く人々の生活を支援するための人材教育や高度な研究を推進します。センターでは、最新の機器の活用により最先端の教育や研究に携わることができ実社会で活躍する優秀なDX人材を育成します。

地域協働授業

各年次の少人数制必修ゼミにて、教員ごとに異なる様々な地域テーマに取り組んでいます。

小杉まちづくり協議会(射水市) ×小林教養ゼミ

地域の古写真をAI活用ソフトでカラー化し写真展を開催しました。



エフエムいみず ×井戸教養ゼミ

地元のラジオ局と協働し、年末の特別音楽番組の企画制作を続けています。



小学校(射水市) ×岩井専門ゼミ

射水市内の小学校で、ドローンを使ったプログラミング体験教室を行いました。



なんとSDGsパートナー ×中村(秀)専門ゼミ

南砺市と協働し、市内でSDGsに取り組む企業や団体を取材し、Webでの紹介記事を作成しました。



富山県立大学に入学してよかったと思うこと(在学生に聞く)

県大に入ってここが良かったと思う点は?

機械システム工学専攻 大学院1年生 川村 慶さん
富山県 | 滑川高校出身

就職活動のサポートがたいへん手厚いことです。各学科・専攻科を卒業した先には、どのような仕事の選択肢があるかの紹介に始まり、企業選びのポイントや就活での準備の優先順位、また企業説明会や先生からの企業紹介、ゼミでの企業見学等々、豊富な就活支援があります。学生は充実した就職活動を行うことができ、その結果、就職率は非常に高くなっています。

富山県立大学を志望した理由は?

生物工学科 3年生 飯川 菜吏さん
富山県 | 砺波高校出身

私の出身校では、いろんな大学に進学した先輩を招いて、その大学を紹介する会を開いています。そこで県大進学者の話や聞く機会があり、就活支援が充実していることを話され、そこに魅力を感じました。また私は、工学的な視点から生物学を学ぶことに興味があり、生命現象を応用して食品づくりや医薬品の開発などを行うことに多くの可能性があると思い志望しました。

今どんな研究をされていますか?

情報システム工学科 大学院2年生 山田 無双さん
愛知県 | 江南高校出身

現状では特殊なメガネ(3Dメガネ)をかけてディスプレイなどの画像を立体的に見ていますが、メガネをかけたなくても立体的に見える裸眼立体ディスプレイについて研究しています。画面の中に、物体が存在するように見せることに、おもしろさを感じています。

今どんな研究に取り組んでいますか?

電気電子工学科 大学院1年生 坂野 秀真さん
富山県 | 小杉高校出身

私が所属する研究室では、観測用ロケットを飛ばして各種のデータを取ったり、観測を行ったりしています。飛行中に計測したデータは地上にすぐに送信され、それをパソコンのディスプレイに表示するようになっていますが、私はそのアプリの改良に取り組んでいます。わからないことは先生にとことん聞くことができ、研究開発の醍醐味を味わっています。

今どんな研究に取り組んでいますか?

生物・医薬品工学専攻 大学院1年生 伊東 実保さん
富山県 | 砺波高校出身

生活習慣が原因で、肝臓に脂肪が蓄積し、炎症が続くことで、肝臓の組織が硬くなる病気があります。今後、この病気を原因とした肝がんの患者数が増加するとされていますが、有効な治療薬はほとんどありません。私はその開発を目指して、免疫の視点から病気のメカニズムの解明を行っています。未知なことが多く、実験結果には驚かされるばかりです。そこがまた実験の面白いところでもあります。

富山県立大学を志望した理由は?

知能ロボット工学専攻 大学院2年生 中川 莉那さん
富山県 | 富山東高校出身

県大の特徴のひとつに、少人数教育と教員と学生の距離が近いことが挙げられます。私はこの学びの環境に関心を持ち、充実した教育を受けたいと思い志望しました。そしてその中で学び、学問的にさらに深めることを期待して大学院に進学しました。

富山県立大学を志望した理由は?

環境・社会基盤工学科 大学院2年生 遠藤 心和子さん
岐阜県 | 関高校出身

家の間取りについて考えることが好きだったのが高じて、建設・建築に関心を持つようになりました。それでその分野の勉強をしたいと思い進路を真剣に考えた際、環境保全も合わせて学ぶことのできる富山県立大学に魅力を感じました。また県大が実施している少人数教育は自分に合うと思いました。

富山県立大学を志望した理由は?

データサイエンス学科 2年生 諸橋 亜希子さん
新潟県 | 国際情報高校出身

ITや情報処理、プログラミングなどに幅広く関心があり、その中からさらに自分が興味を持った分野を深く学びたいと思い、進学先を検討しました。県大の大学案内で紹介されていたデータサイエンス学科のカリキュラムや将来の進路は、私が希望していたものにぴったりでした。情報処理を幅広く学びながら、自分の得意分野を極めていくにはよい学科だと思います。

富山県立大学を志望した理由は?

看護学科 4年生 上原 優衣さん
新潟県 | 高田北城高校出身

看護学科のある大学に進学したいと思い、大学案内を取り寄せたり、ホームページを見たりして調べました。県大の看護学科には、ユマニチュードという患者さんとのコミュニケーションを図る技法や、工学の視点から看護を学ぶことができるとありました。私はこれらを学ぶことを通じて、人に優しい看護ができるのではないかと、思い、志望しました。